

錦江レゲエ浜祭りが開催 されました

7月15日(土)、神川海岸で錦江レゲエ浜まつりが開催されました。

今年は、天候にも恵まれ3,000人を超える来場者がありました。

ステージでは、ボンデラックスや徳之島出身の安田竜馬さんなど、県内から8組のアーティストが出演して会場を沸かせました。

また、町のキャラクター第3弾となる「落武者ボウイズ」も、錦江町の魅力を歌詞に盛り込んだ新曲「落武者バケーション」を披露しました。

実行委員長の大山卓郎さんは、「数年ぶりに雨を心配せずに開催できた。年々、参加者も増えているので、すこしでも町のPRに繋がるよう続けていきたい。」と話されました。



かごしま遊楽館で 「100円茶屋を開催」

7月7日(金)と8日(土)に、東京有楽町にあるかごしま遊楽館で「100円茶屋」が開催されました。

これは、鹿児島茶のPRや販売促進を目的に鹿児島県茶業会議所が毎月主催しているもので、7月は錦江町産のお茶で販売やPRを行いました。

販売に参加した大根占ふかみ会の今村和也さんは、「今回は2日間で1,000杯以上の冷茶を販売しました。錦江町のお茶を求めて来られるリピーターも増えており、初めて鹿児島茶を飲む人にも魅力を伝えられた。これからもこの活動を継続しながら錦江町の魅力も発信していきたい。」と話されました。



マダイの稚魚を放流しました

7月10日(月)、大根占漁港でマダイの稚魚を放流する体験が行われ、今年は田代小学校の4～6年生の児童30人と、大原小学校の児童17名が参加しました。

この活動は、おおすみ岬漁協が水産資源を守る取り組みを知ってもらおうと開催しているものです。

この日は、児童たちがバケツを使って1万8,000匹のマダイの稚魚を放流しました。

体験に参加した、大原小学校5年生の渡辺かりんさん(西大原自治会)は、「初めてマダイの稚魚を放流しました。思っていたより小さくて可愛かった。大きく育ててほしい。」と話されました。



ライチの収穫体験

7月14日(金)、錦江町神川のハウスで5年前から栽培しているライチの収穫が行われました。これは、「錦江町ライチ愛好会」17人が栽培しているもので、町の新たな特産品を目指して管理しています。

この日は、めばえ保育園の園児を招待し、ライチの収穫体験を行いました。

坂口心奏ちゃん(神川中自治会)は、「初めてライチを収穫してみた。甘くてブドウみたいな味がした。」と自分で収穫したライチを味わっていました。

愛好会会長の本釜愛盛さん(栄町自治会)は、「今後は出荷も視野に入れ、ライチで地域活性化に繋がりたい。」と話されました。

